

平成26年 衆議院小選挙区選出議員選挙(香川県第1区)候補者選挙公報

12月14日執行

香川県選挙管理委員会

景気回復、この道しかない。

皆さまのおかげ、国政に送り出された5月14日。常日国政の中心で、地域に直接する仕事をさせていただけました。日本はようやく長いトンネルから抜け、経済にも明るい兆しが見えてきました。私たち自民党は、日本経済の成長力を強化し、その成長の果実を皆さまに届けるよう、アベノミクスをさらに前進させます。

「景気回復、この道しかない。」自民党に期待して下さい。平井たかや



自民党公認候補

平井たかや (56歳)

アベノミクスを、さらに前進。

- 強い経済を取り戻します。
- 成長の果実を地元香川に届けます。
- 女性のチカラを最大限に活かします。
- 「香川創生懇談会」を創設します。

アベノミクスによって、日本は再び成長軌道に戻ることができました。日経平均株価は大幅に上昇し、株価上昇の恩恵は、株式を直接保有している家計のみならず、保険や年金を通じて幅広く波及しています。また、雇用は100万人以上増え、有効求人倍率は22年ぶりの高水準で、今春には平均2%以上の給料アップも実現しています。経済再生と財政再建を、さらに力強く推進して参ります。

経済政策のみならず、外交や安全保障、教育改革などの政策を全力で進めます。目指すゴールは、長引くデフレ不況から脱却し、雇用や所得を拡大させることです。その成長の果実を家庭の一人ひとりに届けるべく全力を尽くします。

女性のチカラを最大限に活用できるかどうか、これから重大な意味を持ってきます。GDP国内総生産の6割が個人消費。その6割のうち、8割を女性が握っているとも言われています。女性の潜在力を引き出し、女性のチカラなくして地方創生はなしえません。個性と能力を十分に発揮できる「すべての女性が輝く社会」の実現を目指します。

新しい発想と実行力、地方創生成功の鍵となります。具体的に「地元香川の創生」を実現させるためには、オール香川で取り組む態勢が必要です。その第一歩として、「香川創生懇談会」を創設し、産官学のパワーを結集し積極的かつ具体的に、「まち・ひと・しごと」を創生する方策に取組んで参ります。

総決起大会 ● 12月11日(木) 19時～ ● サポートホール高松(大ホール)

平井たかやプロフィール

- 昭和51年 3月 ● 高松第一高等学校卒業
- 昭和55年 3月 ● 上智大学外国語学部英語科卒業
- 平成12年 6月 ● 第42回衆議院選挙にて無所属で初当選
- 平成15年11月 ● 第43回衆議院選挙で2期目当選
- 平成17年 9月 ● 第44回衆議院選挙で3期目当選
- 平成17年11月 ● 第3次小泉内閣で内閣府大臣政務官
- 平成18年10月 ● 自民党経済産業部会長
- 平成19年 8月 ● 安倍改造内閣で国土交通副大臣
- 平成19年 9月 ● 福田内閣で国土交通副大臣に再任
- 平成20年 8月 ● 自民党政務調査会副会長
- 平成21年 8月 ● 第45回衆議院選挙において4期目当選
- 平成21年 9月 ● 自民党広報戦略局長・IT戦略特命委員長
- 平成22年 9月 ● 自民党ネットメディア局長
- 平成23年10月 ● 自民党総務部会長(シャドウ・キャビネット総務大臣)
- 平成24年10月 ● 自民党政務調査会副会長
- 平成24年12月 ● 第46回衆議院選挙において5期目当選
- 平成24年12月 ● 内閣常任委員長
- 平成25年10月 ● 自民党IT戦略特命委員長に再任

安倍政権の暴走ストップ 政治を変えましょう!

国民の願いを無視し続けてきた安倍政権。今こそ、政治を変える絶好のチャンスです。日本共産党と河村ただしはあらゆる問題で対案をしめし、国民と共同して政治を動かします。



日本共産党

河村ただし (55歳)

代表例は

日本共産党 とお書きください

消費税 10%

財源

- 「1年半先送り」でなくキッパリ中止します
- 富裕層と大企業に応分の負担を求めます。
- 大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収を増やします。

アベノミクス

「格差拡大」の暴走をストップさせます

アベノミクスで大資産家と大企業は大もうけ。一方、物価は上がり、実質賃金は下がり、庶民のくらしは悪くなるばかりです。

くらし第一で経済をたてなおす3つの提案

- 人間らしく働ける雇用のルールをつくります
 - 非正規から正規へ労働者派遣法の抜本改正。
 - 中小企業支援と一体に最低賃金の抜本的引上げ。
- 社会保障は切り捨てから充実に転換します
 - 年金削減ストップ。医療費の窓口負担、国保料(税)の軽減。
 - 特養ホーム、保育園の待機者(児)ゼロ。
- TPP撤退、農業と中小企業の振興に取り組みます
 - 緊急の米価暴落対策。価格保障と所得補償で農業再生。
 - 外形標準課税による中小企業への増税反対。

「戦争する国」づくりは許しません

集団的自衛権の行使とは「海外で戦争する」ことです。「閣議決定」は撤回をさせ、憲法9条を生かした平和外交にとりくみます。

集団的自衛権

再稼働ストップ、伊方原発は廃炉にします

「稼働原発ゼロ」はすでに1年2か月、原発なしで十分にやっています。「原発ゼロ」へ再生可能エネルギーに抜本的に切り替えます。

原発

企業・団体献金を禁止、政党助成金を廃止します。

【略歴】1959年生まれ、鳥取大学卒、高松市在住。現在、党県書記長。

衆議院小選挙区選出議員選挙 衆議院比例代表選出議員選挙 最高裁判所裁判官国民審査

12月14日 投票日

◎投票用紙は次のとおりです。

- 小選挙区 薄い水色の用紙に黒色のインクで印刷
- 比例代表 白色の用紙に赤色のインクで印刷
- 国民審査 薄い桃色の用紙に黒色のインクで印刷

皆様三期9年間本当にありがとうございました！
「政権の暴走を止め、本物の改革」目指し精一杯頑張ります！どうかお力をお貸し下さい。何卒宜しくお願い致します！
小川淳也 行



民主党公認候補

小川じゅんや (43歳)

国民不在の大義なき解散
なせ今解散か。議員定数も削減されず、1000億円近い費用を費やし、政治空白1ヶ月。この選挙の最大の争点は、こうした安倍政権の政治姿勢、党利党略の選挙が国民本位の政策につながるはずがない。

求められる本物の改革。
小川淳也は日本をどうしたい。
①日本改革原案
今の良い話ばかりではなく、覚悟のいる「本物の改革」二期目出版した「日本改革原案」で示した改革を各党に先駆けて成し遂げ、世界最先端の「成熟国家」を目指す。

②生涯現役社会へ
日本が抱える最大の課題、人口減少と人口構造の激変、社会保障、財政構造を見直し、生涯現役を旨とした社会へと変え、持続可能性を取り戻す。

③より開かれた国づくり
従来にも増してより開かれた国づくりを進め、多様で賑やかな活力ある日本を創り出す。

④エネルギー環境で世界最先端の国づくり
資源に乏しい国だからこそ、世界最先端の技術力を駆使して

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。なお、汚損等がある場合は、市町選挙管理委員会へご連絡ください。